

一般社団法人静岡県設備設計協会
平成27年度第6回理事会議事録

- 1 開催場所 一般社団法人静岡県設備設計協会事務所
- 2 開催日時 平成28年3月11日（金）午後3時～午後5時50分
- 3 現在理事数及び定足数 現在数7名、定足数4名
- 4 出席理事 三ツ井幹雄、植田賢司、山森繁、佐野富士雄
名波睦生、大塚優
- 5 出席監事 中村健一、村松宏
- 6 その他出席者 川端猛真、甲斐裕士、市川倫代
- 7 決議事項
 - (1) 第1号議案 創立50周年収支報告について
 - (2) 第2号議案 第4回定時総会について
 - (3) 第3号議案 平成28年度事業計画について
 - (4) 第4号議案 平成28年度収支予算について
 - (5) 第5号議案 会員の入会審査について
 - (6) 第6号議案 役員を選任について
- 8 報告事項
 - (1) 業務執行理事の職務執行状況報告について
 - (2) 東海4県技術連絡会・意見交換会報告について
 - (3) 会員の退会について
 - (4) 委員会報告について
 - (5) 地区会報告について
 - (6) 協会経理について
 - (7) その他
 - ・関係団体等の招待等案内と出欠席について
 - ・協会バッジについて
 - ・役員報酬について

9 会議の経過概要及びその結果

(1) 開会

司会者の山森繁専務理事から開会が宣せられた。

(2) 会長挨拶

三ツ井幹雄会長から挨拶がされた。

(3) 定足数確認

山森繁専務理事から、本日の出席理事は6名で定款第32条の規定に基づき定足数の充足を確認し理事会が成立していることが報告された。

(4) 議長及び議事録署名人

山森繁専務理事から、議長には定款第31条の規定に基づき三ツ井幹雄会長が当たること、及び議事録署名人には定款第33条の規定に基づき三ツ井幹雄会長と、中村健一監事、村松宏監事になることが報告された。

(5) 議事

〈決議事項〉

① 第1号議案 創立50周年収支報告について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から資料に基づき説明があった。

収入の部、予算額351万円に対して決算額3,660,213円であった。また、支出の部では、予算額351万円に対して決算額3,391,913円であった。

収支差額は268,299円となり、予算内に収めることが出来た。

現在、50周年記念事業用の口座に残金があるが、この口座を解約して通常使用している口座にまとめることを説明した。

名波睦生理事から、建通新聞の広告についてHPに掲載してほしいとの意見があり掲載することとした。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認し承認された。

② 第2号議案 第4回定時総会について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明があった。

日時:平成28年5月20日(金)15:30~19:00

会場:クーポール会館

他に議題についてと開催通知先についての説明があった。

これらの詳細については、4月開催の理事会で決めていくと説明があった。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認し承認された。

③平成28年度事業計画について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明があった。

事業は1.普及啓発事業2.調査研究事業3.地域社会貢献事業4.その他事業5.法人管理事業に分かれており、それぞれについて説明があった。

名波睦生理事より、1.普及啓発事業の中の分離発注促進事業について、現在は冊子「設備設計・監理受注実績」の発行をしているが、あまり活用されていないので、来年度は冊子の印刷を止めて、広報誌の中に掲載していきたいとの意見があり、1年かけて検討してきた課題であったが、出席理事より承認された。また、山森繁専務理事から4.その他事業の中のボランティア活動事業について最近では、ボランティア活動を行うことが無くなってしまったが、また活動を行ってほしい旨の意見があった。植田副会長より、従来のファミリーを含めた清掃活動も良いが、設備技術者としての活動を何か出来ないかとの意見があった。これについては、今後各地区会で検討していくこととした。

さらに、来年度は手塚正一西部地区幹事長を委員長として、今後の協会運営と魅力ある協会づくりについて検討していく特別委員会の発足もあり、この事業についても計画に含むこととした。

以上の事から、4月の理事会において、修正した平成28年度事業計画を提出することにした。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認し承認された。

④平成28年度収支予算について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明があった。来年度予算のこれまでとは違う主だった項目としては、特別委員会の予算として20万円を組んだことが挙げられ、その他については執行状況を見ながら予算を組んでいることが説明された。収支差額が、-386,796円となっており、単年度では赤字予算になっているが、前年度の繰越金で賄う旨の説明があった。また、冊子「設備設計・監理受注実績」の印刷の中止の決定を受けて、その項目を削除することとした。

以上の事から、4月の理事会において、修正した平成28年度収支予算を提出することにした。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認し承認された。

⑤会員の入会審査について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明があった。賛助会員として平成28年度より入会希望の静岡ガスエネルギー株式会社の入会について議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認し承認された。

⑥ 役員を選任について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明があった。
現在理事の中山巧理事から辞任届けの提出があったため、総会において補欠役員
の選任をすることから、甲斐裕士氏を役員候補とする案を提出した。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全
員異議ないことを確認し承認された。

〈報告事項〉

① 報告事項 1 業務執行理事の職務執行状況報告について

議長は、山森繁専務理事に趣旨説明を求め、山森繁専務理事から業務執行理
事の職務執行状況報告の根拠（法律及び定款）及び報告期間について説明が
された。

その後、順次、三ツ井幹雄会長、植田賢司副会長、山森繁専務理事からそれ
ぞれ職務執行状況の報告がされた。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全
員異議ないことを確認した。

② 報告事項 2 東海 4 県技術連絡会・意見交換会報告について

議長本人が会議に出席されたので、議長から資料に基づき報告があった。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全
員異議ないことを確認した。

③ 報告事項 3 会員の退会について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明があった。

正会員では、エル設備企画、賛助会員では、DXアンテナ(株)静岡営業所が
3月31日をもって退会することについて、議長から出席理事に意見を求め
たところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認した。

④ 報告事項 4 委員会報告について

議長は、名波睦生総務委員長、佐野富士雄技術委員長、甲斐裕士広報副委員
長に説明を求め、順次説明がされた。

総務委員会報告

- ・ 建築関係団体新年会を1月22日にホテルアソシア静岡で開催し、出席者
247名（内 設備設計協会73名）であった。

技術委員会報告

- ・ 第3回共同事業推進委員会 12月8日
- ・ 技術講習会（共同事業推進委員会）2月12日
静岡市産学交流センターにて開催し、出席者76名（内 設備設計協23名）

であった。

広報委員会報告

- ・第6回広報委員会 1月15日

広報誌「風とあかり」第37号（50周年記念号）の配布後、155部が事務局にあるので、必要な場合は使って頂きたいとの報告があった。

また、各委員会の会計報告もあった。

以上の報告について議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認した。

⑤ 報告事項5 地区会報告について

議長は、植田賢司東部地区幹事長、川端猛真中部地区幹事長、大塚優理事（西部地区）に説明を求め、東部地区会から順次説明があった。

- ・東部地区会

1月22日に第3回地区会を開催。

理事会、委員会の報告を行った。

来年度に向けての活動目標として正会員増強についての協議をした。

理事会への要望事項として、応急危険度判定士の設備技術者バージョンの必要性について提案があった。

今後設備協会と協議が必要ではという意見があった。

- ・中部地区会

11月14日に第5回地区会を開催。

それぞれ理事会、委員会の報告を行った。

2016～2017年の清水無料相談の日程と担当表を配布し、確認した。

- ・西部地区会

2月23日に第3回地区会を開催

会員の退会の承認がされた。

地区事業計画と予算計画、地区会運営について協議された。

業界、協会の推進については、他の協会と交流し、対話を盛んにする。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認した。

⑥ 報告事項6 協会経理について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明がされた。

平成26年度と27年度（4月～2月末現在）の収支状況を見ると、26年度は15万弱の繰越があり、27年度は50周年関係の収支を除いた繰越が100万程度ある。現金と通帳残高は、200万程度あり3月分を差し引いても4月に資金ショートは無いと思うとの説明があった。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は

全員異議ないことを確認した。

⑦ 報告事項7 その他

- ・関係団体等の招待等案内と出欠席について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明がされた。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認した。

- ・協会バッジについて

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明がされた。

会員の入れ替わりにより、協会員でもバッジを持っていない会員が多くいると思われるので、新しくバッジを作り全員が持つようにする。

作る数は50個程度とし、大きさを現在(10ミリ)のものより一回り大きく(12ミリ位)する。

4月の理事会で予算とデザインの案を提出し検討する。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認した。

- ・役員報酬について

議長は、山森繁専務理事に説明を求め、山森繁専務理事から説明がされた。

役員報酬の支給については、現在は「支給停止」の項目があるため、支給することが出来ないが、役員には大きな負担を掛けていることから、報酬の支給を行いたいとの提案について次の意見があった。

- 金額の大小に関わらず周囲から非難があるのではないか。
- 今後のためには、支給停止項目を外し、文言を変えて検討が出来るようにしたらどうか。
- 金額を明記したらどうか。
- お金でなく記念品にすればよいのではないか。
- これから10年後20年後に60周年記念や70周年記念があると思うが、それに向けて積み立てが必要なのではないか。

これらの意見を参考にして今後検討していくこととした。

議長から出席理事に意見を求めたところ「異議なし」の声があり、議長は全員異議ないことを確認した。

- ・その他

佐野富士雄理事より、来年度の共同事業は視察研修を行うが、前回は東方面に行ったので、今度は西方面を計画したい。バスの手配等が難しい時期でもあるので早めに決定し、たくさんの皆さんの参加をお願いするとの意見があった。

また、三ツ井幹雄会長から、日設協の連合会設立計画についての行程表について説明があり、来年の5月位には連合会設立というスピードで話しが進んでいる。当協会としては、連合会加入については未定であるが、今後は協議が必要になると思う。また情報が入ったらお知らせしていく旨の説明があった。

議長は、以上で平成27年度第6回理事会の議事のすべてを終了したことを宣言し、議長職を解いた。

(6) 副会長総括

植田賢司副会長から、今回の理事会の総括がされ、出席者は検討内容の確認をした。

(7) 閉会

山森繁専務理事から閉会が宣せられ、午後5時50分に散会した。

10 添付資料

(1) 平成27年度第6回理事会次第

以上、この議事録が正確であることを証するため議長及び議事録署名人において、次に記名押印する。

平成28年3月11日

議 長	会 長	三ツ井 幹雄
	(代表理事)	
	監 事	中村 健一
	監 事	村松 宏